

事 項	だいこんのタネバエのクロルピリホス粒剤（ダズバン粒剤）による防除法		
ね ら い	だいこんの品質を阻害する重要な害虫であるタネバエに対して、これまで耕種的及び物理的方法以外に効果の高い薬剤による防除法がなく、効果の安定した薬剤の登録が望まれていた。そこで、だいこんのタネバエに対するクロルピリホス粒剤（ダズバン粒剤）の防除効果を検討した結果、効果が認められ、農薬登録されたので参考に供する。		
指 導 参 考 内 容	<p>1 クロルピリホス粒剤の使用法 (1) は種時に、は種溝を切り、そこに10 a 当たり 9 kgを散布し土壌と混和してからは種する（播溝土壌混和）。</p> <p>2 クロルピリホス粒剤の農薬登録内容 (1) 薬剤名等 ア 一般名：クロルピリホス粒剤 イ 商品名：ダズバン粒剤 ウ 有効成分：クロルピリホス 3% エ 人畜毒性：劇物 オ 魚毒性：C類</p> <p>(2) 使用基準 ア 登録年月：平成17年10月 イ 適用害虫：タネバエ ウ 使用量：9 kg/10 a エ 使用方法：播溝土壌混和 オ 使用時期：は種時 カ 使用回数：1回 キ 総使用回数：クロルピリホスを含む農薬 1回</p>		
期待される効果	だいこんのタネバエの被害が軽減され、安定生産に寄与する。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成18年3月1日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録情報（http://www.maff.go.jp/nouyaku/）を確認する。</p> <p>3 使用上の留意事項を遵守する。</p> <p>4 魚毒性が強いので使用にあたっては十分注意する。</p> <p>5 本剤を処理した後のだいこんは、間引き菜、つまみ菜に使用しない。</p> <p>6 多発ほ場では効果が劣る場合があるので、タネバエを多発させる臭気の強い有機質資材や未熟な有機物の施用、残さのすき込みを行わない。</p>		
担 当	青森県農林総合研究センター 病虫害防除室	対象地域	県下全域
発表文献等	平成10、11年度 青森県農業試験場成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 だいこんのタネバエに対するダズバン粒剤の防除効果 (平成10年 青森農試)

試験1: 5月22日は種 (タネバエ 前半: 少発生、後半: 甚発生)

供試薬剤名	処理量	播種27日後 (6/18)			播種38日後 (6/29)		
		調査根数	被害根率 (%)	被害度指数	調査根数	被害根率 (%)	被害度指数
ダズバン粒剤 クロルピリホス 3%	9kg/10a	60	5.0	1.7 (28.6)	40	65.0	41.9 (82.0)
対) ダイアジノン粒剤5 ダイアジノン 5%	6kg/10a	60	10.6	4.7 (81.0)	40	85.0	65.6 (128.6)
無処理	-	60	14.4	5.8 (100)	40	80.8	51.0 (100)

供試薬剤名	処理量	播種61日後 (7/22)			薬害
		調査根数	被害根率 (%)	被害度指数	
ダズバン粒剤 クロルピリホス 3%	9kg/10a	40	77.5	59.6 (86.7)	-
対) ダイアジノン粒剤5 ダイアジノン 5%	6kg/10a	40	98.3	88.8 (129.1)	-
無処理	-	40	85.8	68.8 (100)	

試験2: 9月7日は種 (タネバエ: 多発生)

供試薬剤名	処理量	播種50日後 (9/7)			薬害
		調査根数	被害根率 (%)	被害度指数	
ダズバン粒剤 クロルピリホス 3%	9kg/10a	60	11.7	3.8 (17.1)	-
対) ダイアジノン粒剤5 ダイアジノン 5%	6kg/10a	60	30.6	12.9 (58.9)	-
無処理	-	60	42.8	21.9 (100)	

(注) 試験ほ場: 農試ほ場、品種: ベっぴん (試験1) 及び耐病総太り (試験2)、は種: 5月22日 (試験1) 及び9月7日 (試験2)、露地栽培、栽植密度: うね幅0.7m×株間0.25m、1区10.5m²(2.1×5.0m)、57株/区、3連制、害虫発生状況: 少→甚発生 (試験1) 及び多 (試験2)、タネバエ誘引条件: 魚粉50kg/10aを施肥時またはは種時に地表面散布、調査: は種27日後、38日後及び61日後に各区40~60株について被害程度を下記の基準で調査し、次式から被害度を算出した。薬害は肉眼で観察した。

被害程度 A: 幼虫食入痕が4穴以上、B: 食入痕が3穴、C: 食入痕が2穴、D: 食入痕が1穴

被害度 = (Aの株数×4 + Bの株数×3 + Cの株数×2 + Dの株数) ×100 ÷ (調査株数×4)

表2 だいこんのタネバエに対するダズバン粒剤の防除効果 (平成11年 青森農試)

5月25日は種 (タネバエ 前半: 中発生、後半: 多発生)

供試薬剤名	処理量	播種30日後 (6/24)			播種57日後 (7/21)			薬害
		調査根数	被害根率 (%)	被害度指数	調査根数	被害根率 (%)	被害度指数	
ダズバン粒剤 クロルピリホス 3%	6kg/10a	40	8.3	2.7 (15.9)	40	28.3	9.6 (39.0)	-
対) ダイアジノン粒剤5 ダイアジノン 5%	6kg/10a	40	26.7	9.6 (56.1)	40	45.0	17.9 (72.9)	-
無処理	-	40	38.3	17.1 (100)	40	50.8	24.6 (100)	

(注) 本試験は処理量が本農薬の登録事項を下まわる条件で行った。試験ほ場: 農試ほ場、品種: ベっぴん、は種: 5月25日、露地栽培、栽植密度: うね幅0.7m×株間0.3m、1区12m²(2.4×5.0m)、57株/区、3連制、害虫発生状況: 中→多発生、タネバエ誘引条件: なたね油粕を主とした有機質70%を含む市販肥料を施肥、調査: は種30日後及び57日後に各区40株について被害程度別に調査し、被害度を算出した (上表参照)。薬害は肉眼で観察した。

(参考価格) ダズバン粒剤 1袋3kg 約1,500円、 4,500円/10a